E2022-0043

研究機関：広島大学

研究課題名	ERCP 関連手技による限局性胆管狭窄の良悪性鑑別診断
研究責任者名	広島大学病院　消化器・代謝内科　准教授　相方　浩
研究期間	許可日　～　2023 年 3 月 31 日

対象者

2008 年 1 月から 2021 年 12 月の間に、広島大学病院にて経乳頭的な病理学的検査および胆管腔内超音波検査を施行した浸潤型肝外胆管癌および良性胆管狭窄の患者さん。

意義・目的

画像診断が進歩した今日においても、良悪性の鑑別が困難な胆管狭窄症例に遭遇し、治療方針に迷うことは少なくありません。今回、限局性胆管狭窄の良悪性鑑別診断における ERCP 関連手技の有用性を明らかにするため、この研究を計画しました。

方法

本研究は，診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は年齢、性別、血液検査、術前病理診断結果、腔内超音波検査および胆道鏡検査の所見などです。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）

共同研究機関

ありません

試料・情報の管理責任者

広島大学病院　消化器・代謝内科　准教授　相方浩

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。なお、本研究で得られたデータは将来計画・実施される研究にとって貴重なデータとなる可能性があり、期限を設けず保管させていただきます。将来別の研究で使用する場合は、改めて倫理審査受けた上で使用します。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551　広島市南区霞 1-2-3
Ｔｅｌ：082-257-5192
広島大学病院　消化器・代謝内科　診療講師　石井康隆